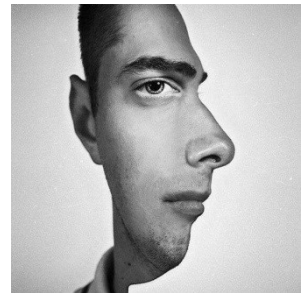
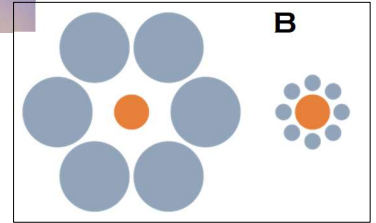
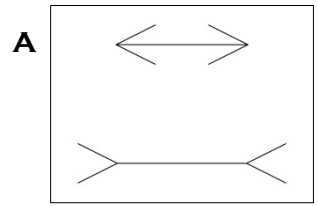


# パリサイ人のパン種 マルコの福音書 8:11~26

1. サピア・ウォーフの仮説 (虹の色)
2. パリサイ人

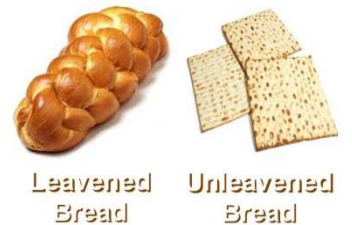


- (1) 起源:「ハシディーム」(“敬虔な人々”)
  - 律法に厳格
  - 「ファリシーム」(“分離した人々”)
  - 「罪人」を受け入れるイエスに我慢がならない
- (2) 主への挑戦
  - 議論をしかけた:信じる気持ちが初めからない
  - 天からのしるしを求めた:モーセと比較した「身の程を知れ」
  - イエスをためした:陥れようとした「どうせできないだろう」
- (3) 主の嘆息
  - しるしを求める:主を信じていない証拠
  - 十分ということがない 五千人の給食 → スロフェニキアの女の娘 → 耳の聞こえない人の癒し → 四千人の給食 → 目の見えない人の癒し
  - 「今日まで、モーセの書が朗読されるときはいつでも、彼らの心にはおおいが掛かっているのです」 (Ⅱコリント3:15)

イザヤ 35 章 4~6 節 (700B.C.) <メシアのしるし>  
 見よ、あなたがたの神を。復讐が、神の報いが来る。神は来て、あなたがたを救われる。そのとき、目の見えない者の目は開き、耳の聞こえない者の耳はあく。そのとき、足のなえた者は鹿のようにとびはね、口のきけない者の舌は喜び歌う。

### 3. パン種

- (1) パリサイ人のパン種 : 「自分は正しい」 (霊的指導者を自負)
- (2) ヘロデのパン種 : 「この世を楽しむ」(ローマ帝国におもねる)
- (3) 私たちの内にあるパン種



人間は 神を求めない / 聖潔を好まない / 神の支配を好まない  
 救い主キリストを好まない / 神を認めない / 神の賜物を知らない  
 自分の真相を知らない / 道を知らない (パジェット・ウィルクス)

パン種を使ったパン、使わないパン

### 4. 霊的視覚の歪み

- (1) 最大:パリサイ人 (真実を見ようとしない)
- (2) 重症:弟子たち (主の真意がわからない)
- (3) 目の見えない人の癒し: 村人から離れて→主に触れられて→段階的に回復→主が見えた



ヨハネの福音書9章 39~41 節イエスは言われた。「わたしはさばきのためにこの世にきました。それは、目の見えない者が見えるようになり、見える者が盲目となるためです。」パリサイ人の中でイエスとともにいた人々が、このことを聞いて、イエスに言った。「私たちも盲目なのですか。」イエスは彼らに言われた。「もしあなたがたが盲目であったなら、あなたがたに罪はなかったでしょう。しかし、あなたがたは今、『私たちは目が見える』と言っています。あなたがたの罪は残るのです。」

# 福音メッセージ パリサイ人のパン種

マルコの福音書 8 章 11 節～26 節 【新改訳改訂第3版】

(※音声は、8 章 15 節の途中から)

- 11 パリサイ人たちがやって来て、イエスに議論をしかけ、天からのしるしを求めた。  
イエスをためそうとしたのである。
- 12 イエスは、心の中で深く嘆息して、こう言われた。  
「なぜ、今の時代はしるしを求め るのか。まことに、あなたがたに告げます。  
今の時代には、しるしは絶対に与えられません。」
- 13 イエスは彼らを離れて、また舟に乗って向こう岸へ行かれた。
- 14 弟子たちは、パンを持って来るのを忘れ、  
舟の中には、パンがただ一つしかなかった。
- 15 そのとき、イエスは彼らに命じて言われた。  
「パリサイ人のパン種とヘロデのパン種 とに十分気をつけなさい。」
- 16 そこで弟子たちは、パンを持っていないということで、互いに議論し始めた。
- 17 それに気づいてイエスは言われた。  
「なぜ、パンがないとって議論しているのですか。  
まだわからないのですか、悟らないのですか。心が堅く閉じているのですか。」
- 18 目がありながら見えないのですか。耳がありながら聞こえないのですか。  
あなたがたは、覚えていないのですか。」
- 19 わたしが五千人に五つのパンを裂いて上げたとき、パン切れを取り集めて、  
幾つのかごがいっぱいになりましたか。」彼らは答えた。「十二です。」
- 20 「四千人に七つのパンを裂いて上げたときは、  
パン切れを取り集めて幾つのかご がいっぱいになりましたか。」  
彼らは答えた。「七つです。」
- 21 イエスは言われた。「まだ悟らないのですか。」
- 22 彼らはベツサイダに着いた。すると人々が盲人を連れて来て、  
彼にさわってくださるよう、イエスに願った。
- 23 イエスは盲人の手を取って村の外に連れて行かれた。  
そしてその両目につばきをつけ、両手を彼に当てて「何か見えるか」と聞かれた。
- 24 すると彼は、見えるようになって、  
「人が見えます。木のようですが、歩いているの が見えます」と言った。
- 25 それから、イエスはもう一度彼の両目に両手を当てられた。  
そして、彼が見つめていると、  
すっかり直り、すべてのものがはっきり見えるようになった。
- 26 そこでイエスは、彼を家に帰し、「村に入行って行かないように」と言われた。